

関西医大総合医療センターだより

特別号

TAKE
FREE

With you

「ホスピタルガーデン」オープン
新病院長・看護部長が就任



関西医科大学総合医療センター
KANSAI MEDICAL UNIVERSITY MEDICAL CENTER

関西医大総合医療センターだより

特別号

TAKE
FREE

With you

「ホスピタルガーデン」オープン



新病院長・看護部長が就任

ごあいさつ



病院長
杉浦 哲朗
● Tetsuro Sugiura ●

経歴

1976年5月	関西医科大学附属病院 研修医
1979年7月	米国マサチューセッツ州立大学セントビンセント病院
1982年4月	関西医科大学内科学第二講座 研究医員
1995年5月	関西医科大学内科学第二講座 助教授
1999年4月	高知医科大学臨床検査医学講座 教授
2010年4月	高知大学医学部附属病院 病院長
2014年4月	高知大学医学部 医学部長
2016年4月	土佐市立土佐市民病院 名誉院長
2016年4月	高知大学医学部附属病院 特任教授
2018年4月	関西医科大学総合医療センター 病院長

病院長ごあいさつ

平成30年4月1日より、岩坂壽二前病院長の後任として関西医大総合医療センター病院長に就任させていただきますこととなり、ここに謹んでご挨拶申し上げます。

総合医療センターは「慈仁（めぐみ）を心の鏡とした患者さん本位の病院」として急性期の患者さんに全人的医療を提供する病院として歩んでまいりました。また、当院は地域に密着した中核病院として、最新で最高の水準の医療を提供するとともに、ホスピタル（Hospital：病院）という言葉の起源とされるラテン語のhospitatis（もてなしのよい）に基づき、患者

さんに「心のこもったサービス」で接する病院を目指しております。私たちは「安心して任せられる」と同時に、お一人お一人の自己決定のための医療情報や、医療行為を点検できる情報を提供いたします。またプライバシーの保護に十分な配慮をしつつ地域の医療機関と協調しながら医療情報を共有し、患者さんにとって最適な医療を行っていくことがとても重要なことと認識しています。

当院は関西医科大学附属滝井病院から関西医科大学総合医療センターに改称し、2年が経ちました。職員一同は自立・自律の精神のもと、それぞれの立場で患者さんのcare（お世話）とcure

（治療）に尽くしておりますが、近年、医療の高度化や高齢化社会の到来により医療は複雑化し、医療現場は過剰な臨床業務に追われています。そこで、当院では多種多様な医療スタッフが各々の専門性を活かし、情報を共有しつつ業務を分担・連携し、患者さんの状態に応じた医療を提供する「チーム医療」の実施に積極的に取り組んでおります。患者さんのニーズに応える医療を提供することにより、「大切な人を受診させたい」と思っていただけの病院であり続けたいと思っておりますので、当院に対するみなさまからのご助言をお待ちしております。

看護部長ごあいさつ



看護部長
谷田 由紀子
● Yukiko Tanida ●

経歴

2002年7月	関西医科大学附属病院 病棟婦長
2006年1月	関西医科大学附属枚方病院 手術室部長
2008年7月	関西医科大学附属枚方病院 病棟管理師長
2012年7月	関西医科大学香里病院 副部長
2014年4月	関西医科大学香里病院 看護部長
2018年4月	関西医科大学総合医療センター看護部長

本年4月1日付けで、看護部長に就任いたしました。当院が、まだ関西医科大学附属病院と呼ばれていた昭和55年に入職し、歴代の看護部長にご指導賜り、成長させていただきました。そして、平成18年に枚方市に新築移転した付属枚方病院に異動し、特定機能病院・高度急性期病院の提供する、医療・看護を学びました。その後、異動した香里病院では、少子高齢化社会にいち早く対応し、訪問看護ステーション、居宅介護事業所、デイケアセンターなどを開設し、地域に密着した医療・看護の提供に取り組んでまいりました。

そして、12年ぶりに懐かしいこの地に帰ってまいりましたが、滝井駅から正面に見える立派な建物を目にした時には、スケールの大きさに驚きました。また、旧本館は、素晴らしいホスピタルガーデンに生まれ変わり、初夏の暖かい風に草花が咲きほこり、患者さん・ご家族・地域住民の方々に癒しの空間を提供しています。

「大切な人を受診させたい病院へ」をモットーに地域医療に貢献していく病院として安全で安心な医療・看護、療養しやすい環境を提供できるような質の向上に取り組んでまいりますので、今後ともご指導ご鞭撻の程よろしくお願いいたします。



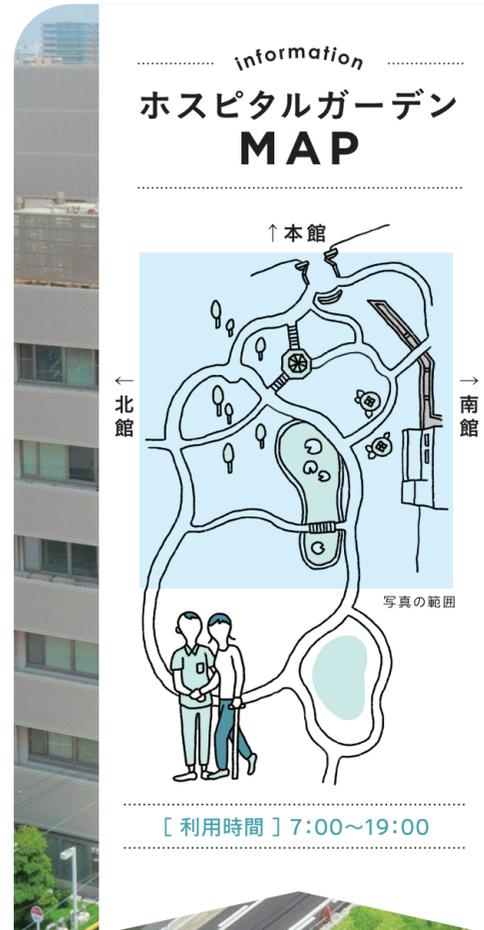
4 梅林
2～3月頃には、遊歩道に植えられた梅21本が見頃を迎えます。



5 アジサイの道
現在見ごろのアジサイは、7月上旬頃まで楽しめます。



6 クロード・モネ作「睡蓮」をモチーフとした池
7月上旬には満開の睡蓮の花をご覧いただけます。



ホスピタルガーデンは、患者さんのリハビリテーションだけでなく、患者さんやご家族、そして緑の少ない住宅密集地での、地域のみなさんの憩いの場としてもご利用いただくことを目的としています。朝7時から夜19時まで開放しており、緑豊かなホスピタルガーデンをぜひご体感ください。



緑豊かな「ホスピタルガーデン」が
 オープンしました！

2018(平成30)年5月22日(火)、旧本館の跡地に、緑溢れる「ホスピタルガーデン」がオープンしました。
 総面積は、サッカーグラウンド一面分に相当する約8,800㎡(約2,600坪)と、広大なスペースを確保。園内には芝生広場や池に加えて桜や梅、アジサイなど約350本もの花が植栽されており、季節の彩りを感じることが出来ます。病棟によっては室内からも患者さんに緑の癒しを感じていただくことができます。
 ホスピタルガーデンは、患者さんのリハビリテーションだけでなく、患者さんやご家族、そして緑の少ない住宅密集地での、地域のみなさんの憩いの場としてもご利用いただくことを目的としています。朝7時から夜19時まで開放しており、緑豊かなホスピタルガーデンをぜひご体感ください。



1 エントランス
本館前の正面エントランスからだけでなく、北館側、南館側からお入りいただけます。



2 サトザクラの並木路
春には、遊歩道に植えられた桜16本が咲き誇ります。



3 ガゼボ(あずま屋)
屋根を設置したガゼボ(あずま屋)は、くつろぎのひとつを過ごしていただけるスポットです。

ホスピタルガーデン 完成式

開催

平成30年5月22日(火)11時より、「ホスピタルガーデン完成式」が開催され関西医科大学総合医療センターがグランドオープンいたしました。

オープニングセレモニーとして、西端勝樹守口市長、山下敏夫関西医科大学理事長、杉浦哲朗関西医科大学総合医療センター病院長、他4名によるテープカットを行い、建築主・ご来賓挨拶の後、出席者約60名でホスピタルガーデンの内覧を行いました。



「本館と南館・北館を繋ぐ、地下通路が開通」



平成29年10月、本館と南館・北館を繋ぐ、地下通路が開通いたしました。

地下通路は、ホスピタルガーデンからの光が差し込む明るい設計となっており、また、様々な絵画や写真が掲示され、利便性のみではなく、患者さんに癒しと安らぎの空間として、ご利用いただいています。